

なた・斧



なたの特徴

- ・斧よりも軽く、薪を小さく細かく割れる!

斧の特徴

- ・重みを使って太い薪でも簡単に割れる!

どんな場面で使える?

例えば...

- ・薪を割って、焚火をする時!

なた(斧)の 使い方・注意点

使い方

- ①なたを使うときは「軍手」を用意しましょう。
- ②軍手を着用した手で薪を支え、薪になたの刃をあてたまま薪とトントントンと一緒にたたきます。薪になたが食い込めば、薪から手を放して大丈夫です。
- ③刃こぼれを防ぐため、薪割り台等の下敷きの上で割るようにしましょう(写真②)。「海老なた」は刃こぼれの心配がないので、下敷きがなくても使えます(写真③)薪が刃から離れないように、なたの重さだけで上下にゆっくりたたきます(写真④)薪の中には、節のあるものも見られます。節は硬くて割れないので、そのような薪は避けましょう。太い薪でも、火力が強くなれば割らずに燃やすことができます。焚きつけは細い薪が必要です(目安として、割り箸くらい)ただし、細い薪はすぐに燃え尽きてしまうため、火力が強くなってきたら少しずつ太い薪を入れていきましょう。

注意点

- ①なたは必ず素手で握る。なたの柄は木製のため、軍手着用でなたを握ると、なたが滑って飛んでしまう危険があります。なただけを振り上げてはいけません!
- ②薪の中には、節のあるものも見られます。節は硬くて割れないので、そのような薪は避けましょう。太い薪でも、火力が強くなれば割らずに燃やすことができます。焚きつけは細い薪が必要です(目安として、割り箸くらい)ただし、細い薪はすぐに燃え尽きてしまうため、火力が強くなってきたら少しずつ太い薪を入れていきましょう。

